

申3号

ンにいがた

バーに加え、今年度の運用 で行い、昨年度の検討メン

画セミナー受講生も加

えてメンバーを拡大する

ントロールができるため、

また課題については、

多

なぜ昨年と同様な方法

2024年度と同様の形 改正に向けた行路検討は

したのかを質しました。

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年10月20日発行

第13号(通巻第373号)

発行者: 星山 圭 編集者:組織部

拘

次期ダイヤ改正に向けて申16号で団体交渉

正について安全・サービス 向上などの視点から検証 品質、労働環境や働きがい 団体交渉を行いました。 検証に関する申し入れ」の 025年3月ダイヤ改正 2024年度申16号・「2 ダイヤ改正は会社の機密情報 2024年度ダイヤ改 新潟地本は9月30日に、|を行い、次期ダイヤ改正の 時間や出退勤時刻、食事時 行っていたものです。 見直しを求めて申入れを |行路作成時における改善・ 行路作成における労働

'致することができました。

において労使で考えを一 |間の考え方など、多くの点

ダイ改プロジェクトで行路検討できない 認識を示しました。

新潟支社は、次期ダイヤ|で行路検討をすることと バーで行うことで情報コ 報であり、定められたメン イヤ改正は会社の機密情 イヤや運賃の改定など、ダ 支社側は、列車の運行ダ 用計画セミナー受講社員 | 支社側は、情報管理下で行 ました。 の成長もあったと回答し 路検討ができたことで、 ける成果と課題を質すと

昨年と同様の方法とした くの社員からの声・意見を かったとの考えを示しま 聴くツールが足りていな

作りだそう ! による意見集約を行 らの声を広く募集して、ダ 振り返り」として、社員か ヤ改正に向けた現行路の めるとして、「Form イヤ改正の行路検討を進 新潟支社は

2025年度冬期

14時00分より

団体交渉に向け 職場から たたかいを

に関する申し入れ

2025年10月21日(火)

|と回答しました。 |会社判断でダイ改プロジ トとしなかった理由を問 ェクトではできないとの うと、情報管理において、 ダイヤ改正プロジェク

る所と、含んでいない箇所 法について質すと支社側 度のメンバーを含んでい は、各箇所で選定し、昨年 もあるとしました。 昨年度の行路検討にお 検討メンバーの選出方

運

える6つの乗務行路を解 消する要求案を提出

した。 「次期ダイ ま

|と支社側は、箇所毎や個別 | 可能であるとしました。 らい集まったのかを質す 集約した意見はどれく|員は素案を閲覧できるの

乗務行路及び交番順序に関する組合案 良い案について支社としても検討と回答

行路の変更案を示し、問題 について、ユニオンとして の解消を求めました。

ことを要求。 (庄内統括センター) 在宅休養時間の増のた 、交番順序を入れ替える

が現行よりも増えるので て承るとした。 良いと思うとし、 支社側は、在宅休養時間 意見とし

(新潟乗務室) 拘束時間が24 時間を超

にしていく考えであり、拘 ての方針はないが検討し 東時間について支社とし 事時間が確保できるよう ていきたいと回答。 支社側は、休養時間や食

EC2~4組に1往復ず つあるため、新規養成者や 特急「いなほ」の行路が

今年度の進め方につい 検討メンバー以外の社

乗務行路及び交番順序 | 転入者などは転換が済む までEC1組以外は交番 |順序通りに乗務できない ことについて指摘

いきたいとした。 の交番作成では改善して

すために便乗列車の見 していくとした。 える案は良いとして、 しを提案し、休養時間が増 車掌の休養時間を増 検討 直

(新津乗務室

きることから、 案を提出。 |車の乗継時刻を遅くする 支社側は、始終業時刻の 出勤時の電車を遅くで 乗り出し列

ながらも、

(長岡統括センター)

路に分割する案を提出。 務の時間解消のため4行 要望は検討していくとした。 支社側は、 長3時間30分の駅業 現行の3行路 |下げ、拘束時間の短縮など |務の解消、始業時刻の繰り の視点で行路案を申入れ。 支社側は、要求された行 睡眠時間の確保、連続乗

らかにしました。 ないとしながらも、各箇所 で3件~15件だっ 件数は明らかにはでき たと明

を示しました。 する考えはないとの考え が、集めた意見を明らかに 容は明らかにするべきで はないかと指摘しました Formsでの回答内

か質しましたが、閲覧は不 ついて」などの新たな施策

| 識しているとして、来年度 内容について課題だと認 支社側も乗務割交番



が妥当と考えているとし

くとの回答を受けました。 ち替えを伴う要求につ ても、支社として検討して 他区所との担当列 車

くのJR労働 新潟支部 者と力 第14回定期大会

開催し、2025年度の運 動方針を全会一致で確立 代市民会館において、 た新たな組織と働き方に プのさらなる飛躍に向け 受けた「JR東日本グルー しました。 超える組合員参加のもと 14回定期大会」を、80名を 会社から5月に提案を 新潟支部は9月6日、 第 万 |きく変わろうとしている 暑のなかで実施される熱 金の実現に向け、JR労働 に対する報道の在り方、 列車のお客さま乗り残 い、行動していく決意をあ なか、社員が退職まで安心 者の総力をもって向き合 して働ける会社・制度・賃 らたにしました。 代議員からは、ワンマン

働環境や生活がさらに大 の実施により、私たちの労 題が多数発言されました。 労働組合としてのチェ

中症対策など、業務上の問

猛

働者と問題を共 は多くのJR労 ック機能を発揮 や、より良い労働 場 日々発生する職 ていくことで、 すること、さらに 有し、力を合わせ 諸問題の解決

ました。 (新潟支部投稿

境づくりを目

更することは可能とした。 次期ダイ改で変 路は全てにおいて良くな イ改の行路作成では っていると評価し、次期ダ したいとした。 検討